

もくじ

- ・ カッパの^{あま}雨ごい

カッパの^{あま}雨ごい

げんさく 原作： にほん ^{むかし}ばなし 日本^の昔話

イラスト： ちひろ

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

3

むかしむかし、とある^{もり なか ちい いけ}森の中の小さな池に、
^{いっぴき}一匹のカッパが^す住んでいました。

このカッパは、ときおり^{きんじょ むら お}近所の村に下りては、
^{た はたけ さくもつ あ むらびと}田んぼや畑の作物を荒らすので、村人たちはとても
こまっていました。

ある日、村のお坊さんが、このカッパの^{す いけ}住む池に
やってきました。



5

「おいカッパや。どうしてお前は、
そんなに悪^{わる}さばかりするのかね？」

すると池^{いけ}の中^{なか}から、カッパが顔^{かお}を出^だしました。

「実^{じつ}はオイラ、人間^{にんげん}と仲良^{なかよ}くなりたいんだ。でも
人間^{にんげん}たちは、だれもオイラの相手^{あいて}をしてくれない。
それで腹^{はら}が立^たって、ときどきイタズラ^{いたずら}をしてしまうん
だよ」

「そうだったのか・・それならもう悪^{わる}さを止^やめて、
なにか人^{ひと}のためになるようなことをしなさい。
そうすれば、村人^{むらびと}もお前^{まえ}の気持^{きも}ちをわかってくれる
かもしれないよ」

「わかった、そうするよ！」

カッパはお坊^{ぼう}さんと、そう約^{やく}束^{そく}をしました。

